

月刊 地球基地

今月のごあいさつ



こんにちは、アースベースの2016年6月のノザワです。
 6月は雨の季節です。傘のお世話になる機会が増えます。実は事業所の傘立てには傘が溢れかえっています。
 家から傘を差してきて仕事場の傘立てに置き、帰宅する時に持って帰るのが普通のはず。実質プラスマイナス0になるはずなのに事業所の傘立ては足し算、足し算...何故か日に日に増えていきます。
 駅の忘れ物市で“傘10円”で売りさばかれている理由がわかるような気がします。
 そういえば傘を買った記憶ないな。今、気付きました。

The 旧中川

アースベースの真横には旧中川が流れています。数年前、護岸工事できれいに整備されたのに川名は依然“旧”のままです。この川には結構歴史があり、江戸時代には「逆井の渡し」という渡し船の発着場があって、平井村と小松川村との間で交流が盛んに行なわれていたそうです。かの歌川広重も『江戸名所百景』に取り上げ、その浮世絵が残されている——と碑に書かれていました。
 もうひとつ、歌舞伎役者の初代中村仲蔵が拾われた地という云われもあります。幼少時代、既に親は亡く、船頭夫にあずけられ手伝いをしているところをたまたま客として船に乗っていた舞踊家の目に留まり、養子にもられ、いつしか芝居を演じるようになり、後年、“名人”と呼ばれるまでとなった人です。
 旧中川の流は穏やかで、ボートやカヌーなどが行き交っています。ちょっと下れば“スカイダック”という水陸両用の化け物船も見られます。八代将軍徳川吉宗も鷹狩りをしにこの地を訪れたとのことで、サギやカモなど水鳥が多く、魚が跳ね、川沿いの緑豊かなところでは、お散歩の際はアースベースにお立ち寄りください。是非お土産持参で。

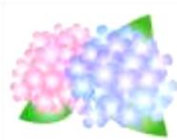
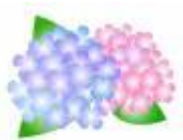
MOTTAINAI



皆さんは、ワンガリ・マータイさんという方をご存じですか？
 ケニアの環境活動家で2011年に亡くなりました。実はこの方、とっても日本と縁の深い方なのです。
 なんと、『もったいない—MOTTAINAI—』という言葉の世界に広めた人物なのです。
 もったいないは「リデュース(消費削減)」「リユース(再利用)」「リサイクル(再生利用)」三つの意味を持ち、地球環境への愛と憂いを持つ言葉だとマータイ氏は提唱しました。その運動は2004年のノーベル平和賞受賞という形で実を結び、世界中の人から称賛されました。日本人でない方が広めたことが少し悔しいですが、嬉しく、また誇らしいことです。マータイ氏の“MOTTAINAI”を見習って当事業所でも身近なことから活動を始めことにしました。出来る範囲でひとりひとりが心がけます。小さな公約。パンパカパーン♪

『節約』『節電』『いい仕事』。

人にも地球にも、ついでに台所事情にも“MATTANAI”を心がけることは大切だし私たちの義務なのです。
 平成28年5月に当事業所は「エコカンパニーえどがわ」に登録されました。ちょっと自慢です。



ほくらの未来のお話

今回は江戸川区役所に取材に行ってきました。
環境部清掃課・ごみ減量係の小川さんという方が、丁寧にお話を聴かせてくれました。小川さんは環境を考え、未来を守ってゆく案内人を行っています。

私達は不本意ながらも生きてるとごみを出してしまいます。このまま出し続けると焼却したり粉碎してもごみを置いたり埋めたりする場所がなくなってしまうそうです。何十年後先の話だそうですが大きな問題に変わりません。江戸川区民ひとりひとりが一日44gずつごみを減量するだけで平成33年度までに平成12年度比20%もごみの量を減らせるのだそうです。たった44gとは言いますが、ではどのように減らしたらいいのでしょうか。それも教えてくれました。

そこで出てくるキーワードが、
「リデュース」「リユース」「リサイクル」です。江戸川区では、こう訳すのだそうです。



「リデュース」はごみを出さないこと。

「リユース」は繰り返し使うこと。

「リサイクル」は再生利用すること。

『3R』といって、ごみを減らす合言葉です。小川さんは「全部大切ですが、やっぱり“ごみを出さないこと”が一番です」と言っていました。確かにその通りで、その時の小川さんの瞳は凜としていました。

現在、小川さんが取り組んでいる問題は『食品ロス』と称するものでした。まだ食べられるのに捨てたり、賞味期限が過ぎて捨てられてしまう食品を削減しよう！という運動です。

江戸川区だけで年間2万トン、日本全体なら同642万トンもの『食品ロス』が発生しているそうです。これらの対策として“もったいない”を旗印に「食品在庫の確認」「使い切りを心がける」「食べきる」という個人でできるものの他、ミニサイズや小盛メニューを導入している飲食店の推進、食べきりレシピをしてくれる料理家さんのトークショーの開催、余っている食品を持ち寄るフードライブを催すなど、たくさんの取り組みをしています。

これらの取り組みは、江戸川区役所などで配っているパンフレットやホームページなどでくわしく見ることができます。ここではどうてい書き足りません。一度は熟読することをお奨めいたします。餅は餅屋、刀は鍛冶屋、船は船頭に任せろです(笑)。

ところで、私はチラシやプリントの裏が大好きです。ごみ箱に入っている彼らを見ると救出したくなります。白い目で見られることもあります。素直に「もったいない」と思うからです。もし、そんな“白い目”を無くすことができたらどうでしょう？それによって数枚の紙が“ごみ”にならずにすみます。小さくて薄い事ですけど、ひとりひとりが気をつけ、努力を怠らなければ大きくて分厚いものになるのではないのでしょうか。「食品ロス」の運動がなくなる日。それを小川さんは目指しているのです。

さてこのニュースレターも、読み終わったら是非「雑がみ」としてリサイクルしてくださいね。いやいや、そもそもごみを作らないがモットーなのだから、捨てずにいてくださいよお。ね？

編集後記

第7号の「月刊地球基地」いかがでしたか？いよいよ暑くなってきました。今年の夏も容赦ないそうです。日差しと仲良く、エアコンは28度でエコに。また次回よろしくお願ひ致します。

【月刊地球基地】 発行人：一般社団法人 EARTH BASE 健常者と障がい者が一緒になってサイン・看板を製作しています。〒132-0034 東京都江戸川区小松川3-2-1 テクノタウン306

TEL : 03-5875-5941 FAX : 03-5875-5942 mail : info@earth-b.jp URL : <http://www.earth-b.or.jp/>